

様式B

令和6年度 幼稚園 ゆめプラン評価公表シート

和歌山市立紀伊幼稚園

教育目標 健康で明るくたくましい子供を育てる

ゆめ	重点目標	取組の状況	
一人一人の思いを大切にしながら、子供と共に創る環境	環境を通じた様々な体験をしよう	・園舎内外において、四季（草花や生き物など）を感じられるように環境を見直したり工夫したりする。	色々な場で四季を感じられるよう、季節の花や草花を育てている。また、子供達が、その草花を使って自由に遊ぶことができるよう、環境を整え、見直してきた。今後も子供達の変化に気づけるよう取り組んでいきたい。
		・四季折々の野菜や植物を育て、友達や家族と一緒に食べる楽しさを味わったり、成長を喜んだりできるようにする。	収穫した野菜を園で調理して食べたり、家庭に持って帰ってもらったりしている。園で食べたことを家庭で子供が話し、その内容を保護者が知らせてくれるので園と家庭が共有することができた。
		・発達段階に応じて、遊具や用具、素材などを十分に準備し、子供達の興味や関心の幅が広がるようにする。	同じ思いで取り組むことができるように、日頃の子供達の様子を話し共通理解できるようにしていった。子供の興味関心を探りながら取り組んでいった。
	身近な人と力を身に親しみ人とかかわ	・友達と一緒に遊ぶ中で、思いを伝え合う楽しさや大切さを知らせていくようにする。	子供達のかかわりを見守り自分なりに伝えようとする姿を受け止め、共感したり、必要に応じて言葉をつけ足したり代弁したりして自分の思いが伝わった嬉しさを感じられるようにしている。
		・遊びや日々の生活を通して、クラスや異年齢の友達とかかわり、親しみの気持ちをもてるようにする。	朝の好きな遊びをする時間について見直した。異年齢児とのかかわりや友達とのかかわりを見守り、時には共感していきながら、様子を職員間で伝え合えるようにしていった。
		・隣接する小学校との交流を通して、小学校への期待をもったり、幼稚園以外の友達とかかわったりする楽しさを味わえるようにする。	年長児と5年生との交流遊びを子供達はとても楽しみにしている。遊んでもらった後に、園で同じものを作って遊びにしている姿が見られる。交流での経験が刺激になり、小学校のお兄さんお姉さんへの憧れの気持ちをもったり小学校を身近に感じたりすることができた。
	いろいろな気持ちや心を育む	・遊び込める時間を十分に取って、自発的な遊びがうまれる環境を工夫する。	園庭や園内の環境を見直し、子供の様子をみながら話し合い環境を工夫していった。
		・自分の興味や関心のあることに主体的に取り組みながら、自尊心や思いやり、粘り強さ、人との協調性などが身に付けられるようにする。	成長の場面をしっかり見とることができるように、子供達の内面を見る意識をした。また、主体的な姿とはどういう姿なのかについて職員で話し合い共通理解していった。
		・子供の育ちを多面的にとらえ、保護者との連携を大切にしていこうとする。	子供の育ちを、園だよりクラスだより、HP等で伝えたり、直接保護者に伝えたりしながら信頼関係を築き、連携をとっていこうとした。

保護者アンケート集計結果の比較から見えてきた成果や課題

すべての項目において高評価をいただいた。今年度は「主体的に遊ぶ子供を育む」～一人一人の思いを大切にしながら子供と共に創る環境～について取り組んでいった。園での教育内容を保護者に理解していただくために、対話を心がけ、クラスだよりや掲示・HP等で伝えていった。どの職員も子供について話ができるよう普段から子供の姿について話をする意識ももった。一つ一つの積み重ねが、保護者の理解につながり高評価をいただけたと考える。

今年度の取組の成果と課題・今後の改善方策

今年度は県園長会の研究会を紀伊幼稚園で行うこととなり、外部講師や他園の先生方に来ていただき指導をうけた。子供が主体的に遊んでいる姿について事例を書きながら話し合い、異年齢児との関わりの大切さを再認識しながら取り組んでいったことで、研究を深めることができた。来年度も引き続き取り組んでいきたい。また、園児数が年々減少しているので園を知ってもらいこの園に通わせたいと思ってもらえるような方法で、知らせていきたい。今後も子供も保護者も安心できる園を目指し、子供・保護者に寄り添っていきたい。

学校(幼稚園)関係者評価委員による自己評価の検証

「主体的に遊ぶ子供を育む」というゆめプランにそって、全学年の先生方が子供達一人一人に、向き合い、見守り研究会等で学び、たくさん話し合いをしながら取り組んでいらっしゃる様子がわかった。子供達ものびのびとやりたい遊びや製作を自分で創造している事が自信にも繋がっていき、それが周りの友達との関わり等にも影響して、学年を問わず遊べているのが素敵だと感じた。